

大和生物研究所(川崎市)が製造する医薬品「ササヘルス」の販売薬局・薬店で組織する「緑健会」は7日、全国から会員360人が参集し、都内で25周年記念大会を開催した。毎年、ササヘルスおよびクマ笹に関する薬理作用等の研究会を全国7会場で開催してきたが、今年は設立25周年を記念し、クマ笹(ササ)にちなんで七夕の日に、会員発表を交えての全国的な記念大会としたもの。

緑健会は、パートナーである大和生物研究所と共に、地域に密着した店づくりを推進してきた。その根幹となるのが、クマ笹から作られる「ササヘルス」(第3類医薬品)をはじめとした、クマ笹関連製品で、これら確かな素材の安定供給と親身なアドバイザーにより、地域の人々の健康増進への貢献を目指している。また、地区研究会や支部交

「ササヘルス」通じて健康支援

プしての新たな販促支援策も予定されている。25周年を節目に今一度原点に戻り、そして新たなスタートを踏み出したい」とあいさつ。

続いて大和生物研究所の大泉高明社長からは、1968年の創業以来、「自然

随順」「自然との共生」を理念に掲げ、無限の可能性を秘めるクマ笹に特化した



石郷岡氏



大泉氏

研究開発を行ってきた経緯、さらには疲労回復や食欲不振、口内炎をはじめ口臭・体臭の除去に効果を発揮する医薬品ササヘルスが、最近では予防やプライマリ・ケアの観点から期待が高まっており、このササヘルスの持つ力(自然治癒

緑健会が25周年記念大会開く

力など)を再認識してもらう施策が説明された。これまでと同様に、会員

店と会社との二人三脚による強固な絆に、顧客を加えた三位一体のシステムを発展・拡大させていく。基本は店頭中心のフェイス・トゥ・フェイスであり、これにWebやソーシャルネットワークなど有機的、効果的に活用していきたい考え。

さらに、医学博士でもある大泉社長の監修による、クマ笹の有効性を詳しく解説した「クマ笹で、気になるニオイをすっきり解消!」(主婦の友社、B5判80ページ)が先月末に上梓されており、この書籍も店頭提案に生かしていく。



25周年を迎えた緑健会の特別記念大会

また、今秋には抗炎症作用、歯周病菌抑制作用のあるクマ笹葉抽出物(ササヘルス)を26・2%配合した「クマ笹歯みがき」を発売の予定(三宝製薬と明海

大学歯学部との共同研究により開発)。大泉社長は「今後は年に1商品ぐらい、魅力的な笹関連製品を開発できればと考えている」と抱負を述べた。

大会では作家の五木寛之氏が「健康法と養生法」と題し記念講演を行ったほか、店頭におけるササヘルスを用いた相談販売の成果などを会員発表が行われた。